

透析だより 平成29年2月号

— 当院でのバスキュラーアクセス管理について —

当院では毎透析時のシャント観察のほか、シャントトラブルスコアリング (STS) シートを用いて経時的なバスキュラーアクセス機能の変化を評価しています。

STS は毎月初めの透析日に行い、目視・触診・聴診でのチェック、透析中の脱血状態・静脈圧の変動、止血に要した時間の変化、止血後のシャントの状態をチェックしています。

STS を行うことによってスタッフのシャント観察への意識も高まり、スタッフ間での情報の共有にもつながっています。

シャントの状態が良くないと評価された患者さんには、エコー検査を行い血流量や狭窄、血栓の付着などの状態を調べています。シャントに問題のない患者さんにも入院時のエコー検査を行い、シャントの状態によって定期的に検査を行っています。

こうしたバスキュラーアクセスの管理によって、急なシャント閉塞を防ぎ、安心して透析を受けてもらえるように努めています。

シャント音聴診



血管エコー報告書

血管エコー報告書 検査日2016/1/7

名前: [] ID: [] シャント種別: []

年齢: 61 性別: 男性 部位: 左前腕動脈シャント

GB(ml/min): 250 透析導入日: H17/6/14

VA設置日: [] 前回の透析: []

PTA履歴: []

検査目的: シャント管理の一環

機能評価

上肢動脈	
CSD(mm)	6.1
FV(ml/min)	1211
PI	0.6
PSV(cm/s)	117.6
EDV(cm/a)	47

形態評価

血管径(mm)	内膜肥厚	石灰化	血栓	血流
吻合部	6.0	-	-	+
入射動脈	4.6	-	-	+
狭窄部	3.2	-	-	+

総合評価 計測値 スコア 参照

FV(ml/min)	1211	0	0:500以上, 1:500未満, 2:400未満, 3:300未満, 4:200未満, 5:100未満
PI	0.6	1	0:0.6未満, 1:0.6以上, 2:0.8未満, 3:0.8以上, 4:1.0以上, 5:1.0以上
血管径(mm)	計	1	11:~PTA前後, 8~10:3ヶ月フォロー, 4~7:6ヶ月フォロー, 0~3:12ヶ月フォロー

所見: 上肢動脈のFV: 1211ml/min, PI: 0.6. 過剰血流です。吻合部CSD: 6.0mm. 肘部から上腕尺側に過する皮静脈は遠端気味で上肢側静脈をメインに中心に流しています。

PTA必要性 (必要・不要) 無し (あり・なし) 無し

次回フォロー日: 129 / 1/7

検査実施者: []

STS(シャントトラブルスコアリングシート)

患者氏名: [] シャントトラブルスコアリング(STS)シート

検査 透析停止直前 透析中 止血後 止血後10分 透析終了後

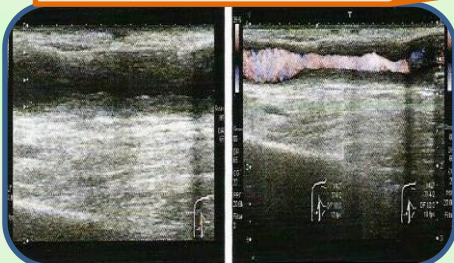
検査項目: 止血に要した時間 止血後のシャントの状態

検査項目	検査日	検査結果	検査日	検査結果	検査日	検査結果	検査日	検査結果	検査日	検査結果
止血に要した時間										
止血後のシャントの状態										

チェック項目/日

検査項目	検査日	検査結果	検査日	検査結果	検査日	検査結果	検査日	検査結果	検査日	検査結果
シャント長の長期的短縮										
吻合部シリンジ吸引不能										
シャント管										
脱血不良										
静脈圧異常										
止血時間延長										

シャントエコー画像



看護部ホームページ委員会作成 2017年2月発行

